

第34回 秋田県優良工事表彰



平成25年8月
秋 田 県

表紙：第34回秋田県優良工事表彰から

能代地区統合高校（仮称）建設事業 管理・特別教室棟建築工事

第34回 秋田県優良工事表彰式

と き 平成25年8月23日(金)

午後3時30分～5時

ところ 秋田県庁 正庁

次 第

1. 開式のことば
2. 式 辞 知 事
3. 審査報告 建設部次長
4. 表彰状授与 知 事
5. 来賓祝辞 県議会議長
6. 受賞者謝辞 受賞者代表
7. 閉式のことば



第34回秋田県優良工事表彰から
若松堰地区 地域用水環境整備事業 00103-K01工事
(仙北市田沢湖卒田)

目 次

・ お祝いの言葉	2
・ 第34回秋田県優良工事表彰について	3
・ 第34回秋田県優良工事表彰工事一覧表	4
・ 表彰工事の概要	6
・ 秋田県優良工事表彰選考委員会および幹事会名簿	35
・ 秋田県優良工事表彰要綱	36



秋田県知事
佐竹 敬久

お祝いの言葉

第34回秋田県優良工事表彰を受賞されました皆様に対し、心からお祝い申し上げます。

この表彰制度は、県内建設企業の技術力の向上を目的に、昭和55年に創設され、今年で34年を迎えました。

今回受賞された29件は、対象となる1,770件の工事から選定されたもので、優れた施工技術と綿密な施工管理の下に完成された他の模範となる工事であります。

昨今、社会資本の整備については様々な議論がなされておりますが、県民共有の豊かな自然や資源を保全しつつ、災害や雪に強い基盤づくり、インフラの老朽化対策などの推進や、地域の発展の根幹となる産業基盤の強化に取り組んでいるところであります。

今後とも、県内建設業者の受注機会の確保や県内経済の活性化、技術力と経営力に優れた企業が適正に評価される環境づくりに努めるとともに、建設産業の振興に取り組んでまいります。

受賞された皆様をはじめ、建設産業に携わる方々におかれましては、本県における社会資本整備の担い手として、一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます、お祝いのことばといたします。

第34回秋田県優良工事表彰について



秋田県優良工事表彰幹事長
秋田県 建設部 次長

石黒 亙

秋田県優良工事表彰は、建設技術の向上を図ることを目的に、県発注工事の中から特に優秀な工事を選定し、これを施工した県内企業と技術者を表彰するもので、表彰には、「優良工事表彰」と、単独企業として優良工事表彰5回目、10回目の受賞者に与えられる「特別表彰」に加え、平成20年度から小規模工事ながら地域の発展に寄与している企業に対して、各地域振興局長が表彰する「地域振興局長表彰」を設けております。

今回は、平成24年度に完成した工事の中から、29件の工事を優良工事として表彰するもので、施工者の内訳は26社、3共同企業体となっております。このうち、1社が10回目の受賞、3社が5回目の受賞となるため、これを特別表彰とするものです。

これらの工事においては、気象条件や施工条件上の厳しい制約を克服する技術力や品質向上に努めた創意工夫、安全対策における独自の取り組み、関係機関・地域住民との円滑な調整などがみられます。このように、綿密な施工管理の下に完成された出来形や品質・出来映えに加え、施工プロセスにおいても特に優れていると評価されたものであり、その御努力に対し敬意と感謝を表すものであります。

今回の優良工事表彰を機に、維持管理時代に対応した新たな技術の習得など、今後とも一層の技術の研鑽と創意工夫に努められますことを期待しております。

第34回 秋田県優良工事表彰 工事一覧表(1/2)

番号	受賞回数 特別表彰	工事名	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
1	2	万谷地区 農地集積加速化 基盤整備事業 03103-K02工事	小坂町 荒谷万谷	小坂建設株式会社	與語 武美	鹿角地域振興局
2	3	地方道路交付金事業 (国道103号) 24-HF14-50工事	鹿角市 十和田末広	株式会社石川組	石川 潤	鹿角地域振興局
3	10 今回 特別表彰	李岱地区 ため池等整備 (河川対応)事業 00402-K01工事	北秋田市 芹沢	株式会社佐藤庫組	佐藤 昌郁	北秋田地域振興局
4	7	県単道路補修事業 (国道105号) G552-K4工事	北秋田市 米内沢	秋田土建株式会社	北林 一成	北秋田地域振興局
5	宮原 6 白川 3	地方道路交付金事業 (杉沢上小阿仁線) FI62-20工事	上小阿仁村 萩形	宮原組・白川建設 特定建設工事共同企業体	宮原 竜也	北秋田地域振興局
6	1	地方道路交付金事業 (国道103号) FI42-11工事	大館市 榎崎～餅田	佐藤吉株式会社	佐藤 吉保	北秋田地域振興局
7	サンワ 0 成田 4	能代地区統合高校(仮称) 建設事業 教室棟建築工事	能代市 緑町	サンワ・成田 特定建設工事共同企業体	渡部 清春	北秋田地域振興局
8	大森 6 大高 0 サンワ 0 高田 0	能代地区統合高校(仮称) 建設事業 管理・特別教室棟建築工事	能代市 緑町	大森・大高・サンワ・高田 特定建設工事共同企業体	大森 三四郎	北秋田地域振興局
9	1	矢崎地区 ため池等整備・ ため池事業 00306-K01工事	能代市 二ツ井町	株式会社コンノ土木	金野 憲行	山本地域振興局
10	5 今回 特別表彰	泉八日地区 農地集積加速化 基盤整備事業 02105-K02工事	三種町 泉八日	小玉建設株式会社	小玉 茂隆	山本地域振興局
11	6	地方道路交付金事業 (国道101号) 23-HA27-20工事	能代市 昭南町 他	大森建設株式会社	大森 三四郎	山本地域振興局
12	4	八郎潟西部地区 基幹水利 施設ストックマネジメント事業 00205-K02工事	男鹿市 脇本	株式会社加藤建設	加藤 正己	秋田地域振興局
13	1	男鹿3地区 農業水利施設 長寿命化対策支援事業 01301-K03工事	大潟村 大潟 他	株式会社大雄建設	桧山 幹雄	秋田地域振興局
14	6	地方特定道路整備事業 (秋田八郎潟線) 23-G704-30工事	五城目町 馬場目	株式会社板橋組	板橋 広光	秋田地域振興局
15	7	地方道路交付金事業 (国道107号) 24-HF17-20工事	由利本荘市 御門	株式会社菅与組	畠山 順太郎	由利地域振興局
16	6	地方道路交付金事業 (国道108号) 24-HF18-20工事	由利本荘市 矢島町前杉	山科建設株式会社	山科 優	由利地域振興局
17	5 今回 特別表彰	河川災害復旧事業 (鮎川) 23-23-0173-30工事	由利本荘市 東鮎川黒沢	株式会社沢木組	沢木 則明	由利地域振興局
18	1	広域河川改修事業 (鮎川) 23-KA70-10工事	由利本荘市 東鮎川	株式会社三浦組	三浦 正光	由利地域振興局

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない

第34回 秋田県優良工事表彰 工事一覧表(2/2)

番号	受賞回数 特別表彰	工 事 名	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
19	3	東今泉地区 農地集積加速化 基盤整備事業 03702-K01工事	大仙市 太田町	高禮建設株式会社	高貝 芳彦	仙北地域振興局
20	2	若松堰地区 地域用水環境整備事業 00103-K01工事	仙北市 田沢湖卒田	株式会社藤村組	藤村 正士	仙北地域振興局
21	2	東今泉地区 農地集積加速化 基盤整備事業 03702-K02工事	大仙市 太田町	株式会社佐藤建設	佐藤 吉博	仙北地域振興局
22	1	総合流域防災事業 (西根沢) LB32-10工事	大仙市 大曲西根	株式会社丸茂組	三浦 尚	仙北地域振興局
23	2	県単河川改良事業 (丸子川) K347-10工事	大仙市 高梨	大曲土建株式会社	小原 良英	仙北地域振興局
24	1	金屋地区 農地集積加速化 基盤整備事業 03901-K01工事	横手市 平鹿町	株式会社村岡組	村岡 志朗	平鹿地域振興局
25	9	地方道路交付金事業 (御所野安田線) H24-FI57-20工事	横手市 旭川	伊藤建設工業株式会社	伊藤 昭文	平鹿地域振興局
26	4	県単道路補修事業 (横手停車場線) H23-G557-K1工事	横手市 上真山	株式会社吉田建設	吉田 博行	平鹿地域振興局
27	5 今 回 特別表彰	若畑地区 山地災害総合減災 対策治山事業 RH1116A150工事	湯沢市 皆瀬	株式会社高嶋組	高嶋 伸夫	雄勝地域振興局
28	7	県単河川改良事業 (皆瀬川) K454-10工事	湯沢市 三梨町	株式会社和賀組	和賀 幸雄	雄勝地域振興局
29	1	能代地区統合高校(仮称) 建設事業 教室棟機械設備工事	能代市 緑町	株式会社 柴田ボイラ工業	柴田 重雄	教 育 庁

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない

1 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	万谷地区 農地集積加速化基盤整備事業 03103-K02工事		
施工地名	小坂町荒谷万谷		
商号又は名称	小坂建設株式会社	許可番号	05-000105
請 負 額	70,083,300 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 與語 武美		
監理技術者等	現場代理人 熊田 春光		
発注公所	鹿角地域振興局（農林部）		
主任監督員	中田 藤春	監 督 員	加藤 武
工 期	平成24年6月1日～ 平成24年11月30日	完成年月日	平成24年11月30日
概 要	1) 整地工 A=7.1ha 2) 用水路工 L=907m 3) 排水路工 L=1,061m 4) 道路工 L=1,090m		
特 徴	1) 工区が3つに分割されており、本工事は上下工区に挟まれた中工区 2) 工区には泥炭層が点在しており、軟弱地盤改良が必要		
写 真			
			
着手前		完 成	
			
課外授業			

◆発注公所の表彰理由

- ・ 本施工業者が、安全協議会の幹事役として各工区の業者及び地元関係者等との調整を図ったことにより、全工区で円滑な工事完成が実現できた
- ・ 農作業の支障となっていた、工区に広範囲で点在する泥炭層の軟弱地盤改良においては、綿密に地耐力調査を行い、改良する範囲を的確にし、さらに施工後にはトラクター走行試験を実施して効果を検証した
- ・ また、施工一般以外においても、地域清掃や地元小学校の課外授業の場を積極的に提供した

◆施工業者からのPR

- ・ 当初から基盤の軟弱層が懸念された事から、基盤整地後に貫入試験を実施しその結果を基に置換工の位置を決定し基盤整地を行い、置換後には受益者の協力を得てトラクターによる試験走行を全区画において実施しました
- ・ また、安全協議会の先頭に立ち、発注者・受益者・施工業者との連絡調整を行い、定期的に会議を実施し進捗状況や各種の問題点・要望事項を解消して円滑に作業する事が出来ました
- ・ 工事終盤には、地元の七滝小学校の課外授業の一環として現場を提供するとともに、資料を配布して事業の内容と工事の完成までの工程を説明し案内しました

2 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路交付金事業（国道103号）24-HF14-50工事		
施工地名	鹿角市十和田末広		
商号又は名称	株式会社石川組	許可番号	05-005372
請 負 額	45,496,500 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 石川 潤		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 規之		
発注公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任監督員	川村 潤	監 督 員	齊藤 一人
工 期	平成24年9月7日～ 平成25年3月22日	完成年月日	平成25年3月1日
概 要	1) 橋梁下部工 P1橋脚 壁式橋脚 447m ³ 、鉄筋 52.61t 2) 仮締切工 N=1式		
特 徴	1) 複数の橋梁下部工事における安全対策の徹底 2) 厳しい気象条件下における工程管理と品質確保の取組		
写 真			
			
施工前	コンクリート打設状況	完成状況	

◆発注公所の表彰理由

- ・隣接工区の請負業者と労働災害防止協議会を組織し、現場周辺の除雪などの地域貢献を率先して行いつつ積極的に工程調整をはかり、遅れを生じさせることなく完成させた
- ・施工時期が冬期と厳しい環境であったが、管理値に独自の設定をするなど、施工計画を工夫し、コンクリートの温度管理や鉄筋の加工や組立に細心の注意を払い施工を実施した
- ・河川内での工事であったが、土嚢の設置方法を工夫し、河川環境の保全に細心の注意を払い施工を実施し、濁りなどによる苦情もなく工事の円滑化に努めた

◆施工業者からのPR

- ・河川内での作業の為、緊急時に備えてオイルフェンスと中和剤を現場内に常備し、仮締切工では、大型土嚢を2段階に設置して流入水を低減し、濁水を流出せぬように施工できました
- ・品質・出来形管理では、寒中コンクリート養生の採暖計画、おんどとりによる温度管理、独自の鉄筋測定定規を作成しチェックシートを活用しての出来形管理を行い、「規格値の50%以内」を目標に施工管理を行いました
- ・隣接工区施工業者と労働災害防止協議会を設立し、工程調整やバス停、現場周辺の除雪を率先して実施し、ブログを開設して工事の進捗状況の周知や、地域住民の協力を得て、円滑に工事を施工することができました
- ・今後も更なる品質・技術の向上を図り、地域貢献に努めて参ります

3 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	李岱地区 ため池等整備（河川対応）事業 00402-K01工事		
施工地名	北秋田市芹沢		
商号又は名称	株式会社佐藤庫組	許可番号	05-006597
請負額	84,034,650 円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 佐藤 昌郁		
監理技術者等	現場代理人 簾内 哲哉		
発注公所	北秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	石川 久志	監督員	小野寺 裕司
工期	平成24年12月14日～ 平成25年3月25日	完成年月日	平成25年3月25日
概要	1) 頭首工補修 N=1式、L=74.9m		
特徴	1) 固定堰本体、基礎部からの漏水により決壊の恐れがあり、災害防止のための頭首工補修工事		
写 真			
			
完 成	既設構造物の表面はつり作業		高校生インターンシップ (丁張り設置の実技指導)

◆発注公所の表彰理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、昭和44年、昭和57年の災害復旧事業により施工された頭首工で、災害を防止するための頭首工工事である ・河川内における工事で、冬期間から融雪出水期までの気象条件が厳しく、工期が短い施工状況下で、創意工夫による適切な工程管理、品質管理を実施し、工事を完成させた ・地元住民への説明会、除雪ボランティア、高校生インターンシップなど、地域との交流を積極的に深めた

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・冬期間の工事で、躯体構造物の施工（コンクリート体積）が多く、工期内完成が厳しい状況であり、また現場が河川内の為、春の雪解けによる増水等が懸念される中での施工であった ・工程管理はもとより、品質の高い構造物を施工する為、自主的にコンクリート強度を上げ、品質の確保に努めた ・高校生の現場見学会の実施や地元住民への説明会等を開催し、地域住民と積極的な交流を深め、尚且つ工事施工に当たり理解を求めるよう取り組んだ ・今後も、更なる品質及び技術の向上、環境への配慮並びに地域社会貢献に努力したいと思います

4 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	県単道路補修事業（国道105号）G552-K4工事		
施工地名	北秋田市米内沢		
商号又は名称	秋田土建株式会社	許可番号	00-024461
請 負 額	16,831,500 円	工種・格付	ほ装 A級
代 表 者	代表取締役 北林 一成		
監理技術者等	現場代理人 園部 信悦		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	富田 幸憲	監 督 員	千葉 雄大
工 期	平成24年3月9日～ 平成24年6月14日	完成年月日	平成24年6月14日
概 要	1) 施工延長 L=460m 2) 路面切削 A=2,960㎡、表層工 A=2,960㎡、舗装打換 N=1式 区画線設置 N=1式		
特 徴	1) 交通量の多い供用中の道路上における舗装補修工事		
写 真			
			
完 成	現場到着温度測定	交通規制状況	

◆発注公所の表彰理由
<ul style="list-style-type: none"> ・当該工区は、自動車交通量が8千台／日を超える人家連担の供用中道路において、表層の平坦性が1.00mmを下回る施工を行った 未供用の新設舗装でも、平坦性が1.00mmを下回る事は容易なことではなく、非常に高い精度の施工を実施したといえる ・当該工区は桜並木が有名であることを考慮して、工事の着手を遅らせるなどの配慮、工事期間を通して地元や第三者からの苦情やトラブルが一切無く、無事故で完成に至った

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・交通量が非常に多い、人家よりの出入り交通の多い箇所での施工であったため、通行車両の利便性、安全を図るために、通勤時間帯を避けての施工や通行車両の規制延長を短くする等の対策を行った ・舗装の品質を高めるため、プラントとの連携をはかり、アスファルト混合物の連続供給を行い、ジョイントの施工段差を防ぐことができた ・また、アスファルト合材の温度管理については、適正な温度で締め固めが出来るよう、共通仕様書の規定以上に測定頻度を上げて測定するなど様々な工夫を行い、仕上がりのよい舗装を達成することができた

5 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路交付金事業（杉沢上小阿仁線）F I 6 2 - 2 0 工事		
施工地名	上小阿仁村萩形		
商号又は名称	宮原組・白川建設特定建設工事共同企業体		
請 負 額	54,840,450 円	工種・格付	法面 A 級
代 表 者	株式会社宮原組 代表取締役 宮原 竜也		
許可番号	05-010808	監理技術者等	現場代理人 瀧澤 龍也
(構 成 員)	白川建設株式会社 代表取締役 白川 懸士		
(許可番号)	05-002358	(監理技術者等)	主任技術者 高橋 信男
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	木村 公一	監 督 員	佐藤 信宏
工 期	平成23年10月7日～ 平成24年10月17日	完成年月日	平成24年10月17日
概 要	1) 施工延長 L=34.8m 2) アンカー工 N=61本、プレキャスト受圧板 N=61基		
特 徴	1) 狭隘な道路に面した、施工ヤードの確保が困難な現場での法面の補修・補強工事		
写 真			
完 成		モルタル吹付完了状況	散水状況

◆発注公所の表彰理由

- ・当該工事は、幅員が1車線の狭隘な道路に面した法面の補修・補強を行う工事で、施工ヤードが取れない現場で、資材搬入等クレーン作業を行う際には、やむを得ず道路を時間帯通行止をして工事を行い、時間的制約のあるなか、後続工事に支障のないよう工事を完成させた
- ・工期中に2ヶ月間にわたって開催された、地元上小阿仁村が主催するイベント会場への連絡路であったため、イベントに支障のないよう工程計画を組み、工事を遂行し完成させた
- ・法面整正後の調査の結果、当該法面は転石・角礫が存在し、法面上での作業が非常に困難であったこと、道路上への落石が懸念されたため、その対策としてモルタル吹き付工を行い工事を施工するなどの工夫がみられた

◆施工業者からのPR

- ・本工事では、施工制限のある中で最大限の効率をあげるよう、隣接工区と日々綿密な打ち合わせを行いながら工事の完遂を目指しました
- ・品質向上のため、アンカー工の機能確保や構造物の長寿命化などについて創意工夫を行いました
- ・落石や崩落による第三者災害の防止を安全管理の重点目標に掲げ、上小阿仁村の主催する「大地の芸術祭」の成功に微力ながら貢献できたことは、弊社にとってこの上ない喜びであります
- ・今後も、技術力の研鑽と更なる品質の向上を図り、地域防災の一翼を担えるよう、努力して参ります

6 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路交付金事業（国道103号）F I 4 2 - 1 1 工事		
施工地名	大館市櫃崎～餅田		
商号又は名称	佐藤吉株式会社	許可番号	05-001178
請 負 額	16,682,400 円	工種・格付	ほ装 A級
代 表 者	代表取締役 佐藤 吉保		
監理技術者等	現場代理人 北林 勝彦		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	富田 幸憲	監 督 員	千葉 雄大
工 期	平成24年8月3日～ 平成24年10月31日	完成年月日	平成24年10月31日
概 要	1) 施工延長 L=692m 2) 路面切削 A=4,650㎡、表層工 A=4,650㎡、クラック補修 N=1式 区画線設置 N=1式		
特 徴	1) 交通量の多い供用中の道路上における舗装補修工事		
写 真			
			
完成	クローラー駆動式 アスファルトフィニッシャー	舗設状況	

◆発注公所の表彰理由

- ・当該工区は、自動車交通量が1万台／日を超えるうえ、施工区間内に大館南IC（大館西道路）のランプ部や片側1車線から2車線に切り替わるなど、非常に交通誘導の難しい区間の施工となったが、この状況下において表層の平坦性を概ね規格値の50%以内に納めるなど非常に高い精度での施工を行った
- ・大館市で開催される祭典により、混雑することを予想して施工着手時期を配慮するなどし、第三者からの苦情やトラブルもなく無事故で完成することが出来た

◆施工業者からのPR

- ・交通量が非常に多い箇所での施工であり、かつ片側1車線から2車線に変わる車両の通行状況が変化する等の、通行上危険な箇所での施工場所であったため、工事施工従事者の安全確保・通行車両の安全な通行確保のための対策を行い施工した
- ・自動車専用道路の施工であるため、クローラー駆動式アスファルトフィニッシャーを使用して施工し、平坦性の向上に努めた

7 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	能代地区統合高校（仮称）建設事業 教室棟建築工事		
施工地名	能代市緑町		
商号又は名称	サンワ・成田特定建設工事共同企業体		
請 負 額	438,236,400 円	工 種 ・ 格 付	建築一式 A 級
代 表 者	株式会社サンワ興建 代表取締役 渡部 清春		
許可番号	05-010704	監理技術者等	現場代理人 出雲 孝平
(構 成 員)	成田建設株式会社 代表取締役 成田 保		
(許可番号)	00-024744	(監理技術者等)	主任技術者 大村 富士夫
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	近藤 教	監 督 員	石井 貴史
工 期	平成23年11月16日～ 平成25年2月22日	完成年月日	平成25年2月22日
概 要	1) 教室棟 木造一部鉄筋コンクリート造2階建（延べ面積1,864.0㎡） 2) 渡り廊下 鉄骨造2階建（延べ面積29.38㎡）		
特 徴	1) 1階が鉄筋コンクリート造、2階が木造の混構造建築物 2) 既存建物や接続建物（管理教室棟）間の狭隘敷地への建築		
写 真			
			
完成写真（教室棟）		内観（教室）	
			内観（廊下）

◆発注公所の表彰理由

- ・ 教室棟は1階が鉄筋コンクリート造で、2階が木造の混構造の建築である
- ・ 施工図を作成し取り合いのチェックや、木材製品の工場や現地でのチェックを強化する一方、職人のミーティングを行い、品質確保や施工精度の向上に努めた
- ・ 狭隘敷地での建設ということで作業工程の管理や材料保管養生など適正に行い、完成建築物は優れた出来栄えとなった
- ・ 建設地が住宅密集地であり、周辺道路の清掃や道路にカーブミラー設置など安全対策にも取り組んだ

◆施工業者からのPR

- ・ 1階がRC造で2階が木造の混構造であったので、接合部であるアンカーボルトの設置方法など工夫し、精度の高い施工を行った
- ・ 木材等の材料の含水率や加工形状等を工場・現場とダブルチェックを実施し、品質の確保に努めた
- ・ 建設敷地が狭く隣地にも近いことから、関連業者と安全対策協議会を設置したほか、カーブミラーを設置し近隣住民への安全に配慮し、特にトラブルもなかった
- ・ 工事完成にむけ、工夫や関係者との協議を密にし、出来映えの良い仕上がりが達成出来たと感じている

8 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	能代地区統合高校（仮称）建設事業 管理・特別教室棟建築工事		
施工地名	能代市緑町		
商号又は名称	大森・大高・サンワ・高田特定建設工事共同企業体		
請 負 額	955,500,000 円	工 種 ・ 格 付	建築一式 A 級
代 表 者	大森建設株式会社 代表取締役 大森 三四郎		
許可番号	00-024641	監理技術者等	現場代理人 三上 満
(構成員・許可番号)	①大高建設株式会社 代表取締役 大高 慎司	05-000967	
	②株式会社サンワ興建 代表取締役 渡部 清春	05-010704	
	③高田住宅工業株式会社 代表取締役 高田 金道	05-004423	
(監理技術者等)	①主任技術者 後藤 忠、②主任技術者 高田 博、③主任技術者 佐藤 重明		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	近藤 教	監 督 員	石井 貴史
工 期	平成23年10月11日～ 平成25年2月22日	完成年月日	平成25年2月22日
概 要	1) 鉄筋コンクリート造4階建て（延べ面積6,101.17㎡）		
特 徴	1) 鉄筋コンクリート造に一部PC梁併用の中高層建築物 2) 既存建物や接続建物（管理教室棟）間の狭隘敷地への建築		
写 真			
			
完成写真（管理・特別教室棟）		内観（メディアホール）	内観（科学生物実習室）

◆発注公所の表彰理由

- ・管理特別教室棟は、事務室や職員室などの管理スペースと各種実習室の特別教室スペースからの建築物で、施工図の調整や学校担当者との綿密な打ち合わせを行ったほか、コンクリートの試験練りを行うなど、施工精度の向上や品質確保の向上に努めた
- ・狭隘敷地での建設ということで、作業工程の管理や軟弱地盤への地盤改良を自主的に行うなど、施工性向上に努め、完成建築物は優れた出来栄となった
- ・関連工事施工業者間に現場安全協議会を設置し、リーダー的責任を果たすなど安全管理にも努めた

◆施工業者からのPR

- ・既存校舎の残存と狭隘敷地での工事であったため、荷揚げ重機や資材ヤード確保などの調整を綿密に行った
- ・工事車両の通行道路の幅員が狭く、近隣からの苦情にも誠意をもって対応し、特段のトラブルもなかった
- ・施工の品質確保や施工精度を向上させるため、施工図を自主検査や工事監督との念入りな打ち合わせ等でのチェック体制強化を図り、出来映えのよい建築物を完成させることが出来た

9 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	矢崎地区 ため池等整備・ため池事業 00306-K01工事		
施工地名	能代市二ツ井町		
商号又は名称	株式会社コンノ土木	許可番号	00-009694
請 負 額	28,961,100 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 金野 憲行		
監理技術者等	現場代理人 松岡 芳之		
発注公所	山本地域振興局（農林部）		
主任監督員	秋林 正樹	監 督 員	高橋 幸大
工 期	平成24年8月31日～ 平成25年1月31日	完成年月日	平成25年1月31日
概 要	1) 堤体法面保護工 A=1,372㎡ 2) 安全施設工 L=223m		
特 徴	1) 枠工の床堀及び埋戻しにおいて、降雨による含水比上昇を防ぐためのブルーシートを堤体全面に設置 2) 洪水吐下流部の土水路を木柵に工夫して実施		
写 真			
			
完 成	シート養生及びブロック敷設	木柵水路	

◆発注公所の表彰理由

- ・ 枠工基礎部の床堀土や埋戻土の品質を確保するために、予め堤体全面にシートを設置して降雨による含水比上昇防止に努めた
- ・ 支給品である大型連結ブロックの据付にあつては、ブロックの寸法を確認のうえ、CADで割付図を作成、事業主体の承認を得たうえでの施工であったが、景観、出来形ともに良好であった
- ・ 洪水吐下流側の水路は堆積土砂を利用した土水路設計であったが、水路の左右側に木柵を設置して浸食や崩落防止を図った

◆施工業者からのPR

- ・ 本工事の工程が主工事に入る11月に入ってから降雨が多く、また、12月初旬から降雪（大雪）による天候不順日が連続した為、降雨対策や搬入路（5.0km）の除雪などにより工程の遅延が懸念されましたが、作業員増員などのフォローアップにより、工期内に完成させることができました
- ・ 枠工生コン打設時の上層と下層の打継ぎ時には、バイブレーターにマーキングを行い、下層に十分差し込めるように工夫するなど、構造物の品質向上に留意しました
- ・ また地元の土地改良区や地区協議会とのコミュニケーションを積極的に行い、苦情の無いように工事を進めました
- ・ 最後に、本工事に係わった発注者監督員はじめ、協力会社、関係各位の皆様には、心から御礼を申し上げるとともに、更なる品質、技術の向上に努力したいと思います

10 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	泉八日地区 農地集積加速化基盤整備事業 02105-K02工事		
施工地名	三種町泉八日		
商号又は名称	小玉建設株式会社	許可番号	05-001306
請 負 額	45,702,300 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 小玉 茂隆		
監理技術者等	現場代理人 伊藤 金美		
発注公所	山本地域振興局（農林部）		
主任監督員	秋林 正樹	監 督 員	池田 剛志
工 期	平成24年3月23日～ 平成25年3月15日	完成年月日	平成24年12月18日
概 要	1) 整地工 A=6.6ha 2) 暗渠排水工 A=10.5ha		
特 徴	1) 泥炭層下におけるほ場整備工事の施工機械を選定 2) ほ場内道路の盤破壊を防ぐため運搬車両の限定		
写 真			
			
完 成	表土剥取状況	客土材積替状況	

◆発注公所の表彰理由

- ・ ほ場内の地耐力が200KN/m²未満と低いため、整地工事に超々湿地ブルドーザ4～7 t級を使用して、機械の走行に伴うこね返しや自重によるほ場の沈下防止に努めた
- ・ 泥炭層上の農道であることを考慮し、客土材を運搬するダンプトラックを4 t車に限定して農道の盤破壊防止に取り組んだ

◆施工業者からのPR

- ・ 当工事は、夏施工の軟弱地盤改良工事と冬期間の暗渠排水工事でしたが、特に地下水位の高い泥炭層への客土による地盤改良は、客土厚さが5 cmと薄く、敷均機械の自重による客土材の埋没や、敷均作業による支持基盤の盤破壊を防ぐため、超々湿地ブルドーザで施工しました
- ・ また、機械の運転手が、軟弱地盤の整地工事の経験が豊富で、施工方法に精通した熟練者であった事が高品質な完成に多いに寄与したと思っています
- ・ 当社では、日頃より熟練工の確保、待遇改善に努めており、そうした労務対策が、この度の受賞にもつながったものと喜んでおります

1 1 第 3 4 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金事業（国道 1 0 1 号） 2 3 - H A 2 7 - 2 0 工 事		
施工地名	能代市昭南町 他		
商号又は名称	大森建設株式会社	許可番号	00-024641
請 負 額	41,573,700 円	工 種 ・ 格 付	ほ装 A 級
代 表 者	代表取締役 大森 三四郎		
監理技術者等	現場代理人 信太 廣司		
発注公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	長谷川 重昭	監 督 員	畠山 智憲
工 期	平成23年9月29日～ 平成24年5月31日	完成年月日	平成24年5月25日
概 要	1) 施工延長 L=320m、幅員 W=13.0(22.0)m 2) アスファルト舗装工 A=5,165㎡、区画線工 N=1式		
特 徴	1) 国道 1 0 1 号現道拡幅事業における舗装工事 2) 住宅密集地かつ日交通量18,000台の国道工事における交通安全対策の徹底		
写 真			
			
完 成（航空写真）		完 成	
夜間工事における安全対策			

◆発注公所の表彰理由

- ・本工事は国道 1 0 1 号の能代市内における現道拡幅事業の舗装工事である
- ・日交通量 1 8, 0 0 0 台の住宅密集地である国道において、通行車両や工事現場に隣接する住宅、商業施設、病院等に配慮しながら安全確保に努めるとともに、高機能改質アスファルト乳剤の使用など品質・出来形管理に独自の工夫で取り組んだ

◆施工業者からの P R

- ・主要道路の舗装工事で、表層の仕上がり（平坦性）が最大のポイントと考え、アスファルトフィニッシャーに自動制御装置を設置し、平坦性及び厚さの確保を図りながら、慎重に施工をしました
- ・住宅等の密集地での施工であり、交通量も多いことから夜間施工となりましたが、沿道の住宅・店舗など一軒一軒を回って工事の内容を説明し理解を得た結果、苦情等もなく施工できました
- ・出来形管理の目標値を規格値の 5 0 % 以内に設定し、施工に当たり目標値を確保するために、舗装型枠の設置前設置後の測量を重点的に行いました
- ・舗装完了後、全車線交通解放までの間に、車線規制の看板及びバリケードを設置し、解放時直前に各車線のライン引きを行い、一般通行車両の事故防止に努めました

1 2 第 3 4 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	八郎潟西部地区 基幹水利施設ストックマネジメント事業 00205-K02工事		
施工地名	男鹿市脇本		
商号又は名称	株式会社加藤建設	許可番号	05-002392
請 負 額	56,651,700 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 加藤 正己		
監理技術者等	現場代理人 藤岡 孝		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	藤原 竹義	監 督 員	石井 崇
工 期	平成24年9月14日～ 平成25年3月27日	完成年月日	平成25年3月27日
概 要	1) 高架水槽工 N=1式		
特 徴	1) PCケーブル緊張及びグラウト注入しながら高架水槽組立施工		

写 真



高架水槽全景



PC緊張



グラウト注入

◆発注公所の表彰理由

- ・本工事は、施工時期が非かんがい期に限定されたほか、豪雪により施工条件は厳しいものであったが、受注者の創意工夫によるコンクリート養生管理を行うことで品質向上に努めた
- ・また、別件で発注している高架水槽の配管製作据付工事や、高架水槽の歩廊・管理廊等製作据付工事との作業調整を円滑に行う為、合同施工会議を開催し適切な工程管理を行い、工事を完了させた

◆施工業者からのPR

- ・本工事の高架水槽の貯水量は、450m³と膨大な量であるため、工事完成後の水圧による漏水が懸念されたが、コンクリートの品質向上を目的に、養生管理を徹底的に行い、加えてコンクリート打継目及び型枠セパレータに止水材を使用し、漏水の防止に努めた
- ・PCケーブルの緊張方法について、水槽の形状が円形であり、同一方向で緊張した場合、水槽形状に歪みが生じるおそれがあったため、東西方向と南北方向の2方向から緊張し、均等に力を加えた結果、歪み等の不具合も見られず、所定の寸法を満足することができた
- ・工事場所がほ場に隣接していたことから、燃料流出防止対策として、防油堤付発電機を使用するとともに、工事場所周辺のクリーンアップ及び農道の整備を実施し、地域への貢献に努めた

13 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	男鹿3地区 農業水利施設長寿命化対策支援事業 01301-K03工事		
施工地名	大潟村大潟 他		
商号又は名称	株式会社大雄建設	許可番号	05-004441
請負額	50,083,950円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 桧山 幹雄		
監理技術者等	現場代理人 安田 喜美秋		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	三浦 学	監督員	渋谷 博徳
工期	平成24年10月19日～ 平成25年3月29日	完成年月日	平成25年3月29日
概要	1) 道路横断暗渠工 N=2箇所 140号（φ2000 L=28.0m×2連）、144号（φ2000 L=28.0m×3連）		
特徴	1) 非かんがい期間の施工及び豪雪の中での適切な工程管理 2) 軟弱層を改良することより、暗渠管体の安定を図る等の品質向上対策		
写 真			
			
完 成（144号横断暗渠）	安全性を考慮したクレーン作業		セメント系固化材攪拌混合状況

◆発注公所の表彰理由

- ・本工事は、国営干拓事業で造成された支線排水路に設置されている道路横断暗渠の改修工事であり、施工時期が非かんがい期に限定されたほか、平成24年度の豪雪により施工条件は厳しいものであったが、施工体制を組み直す等の適切な工程管理を行い、工事を完了させた
- ・また、当地区は海拔ゼロメートル地帯で地盤が軟弱な状況であるが、創意工夫により、セメントによる軟弱層の改良を行うことで暗渠管体の安定を図る等、品質向上に努めた

◆施工業者からのPR

- ・現場は、支線排水路を仮廻し水路にて迂回し、構築するものであり、上流・下流の止水層（大型土のう）の補強を施して雪融け時の増水に対処し、構築内に浸水等がなく工期内完工することができました
- ・また、流入流出部について、既設排水路になじみ良く取付ける等、完成後の維持管理コスト軽減に努めた
- ・常に天気の情報収集に心がけ、悪天候時（地吹雪による吹きだまり）による休工措置をなくすように除雪対策をし、通行の確保に努めました
- ・今後も受賞を励みに、品質及び安全の徹底と技術の向上に努めてまいります

1 4 第 3 4 回 秋 田 県 優 良 工 事 表 彰 受 賞 工 事

◆工事概要			
工 事 名	地方特定道路整備事業（秋田八郎潟線）23-G704-30工事		
施工地名	五城目町馬場目		
商号又は名称	株式会社板橋組	許可番号	05-001354
請 負 額	51,979,200 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 板橋 広光		
監理技術者等	現場代理人 畠山 一也		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	小林 浩明	監 督 員	佐藤 大
工 期	平成23年12月2日～ 平成24年4月25日	完成年月日	平成24年4月25日
概 要	1) 施工延長 L=49.2m 2) 工場製作工（端ブラケット）0.13t 3) 舗装工 A=400m ² 4) 橋面防水工 A=400m ² 5) 床版補強工 上面A=93m ² ・下面A=57m ² 6) 地覆補修・高欄交換工 L=202m 7) 伸縮装置補修 L=35m		
特 徴	1) 本工事は、施工条件の厳しい山間部の厳冬期において、経年による変状が顕著な高瀬橋に対し、補修および車両大型化に対応した補強を実施した		
写 真			
			
着手前		完成後	
			
		床版下面増厚補強 スーパーホゼン工法	

◆発注公所の表彰理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、鋼製のブラケットの設置、床版の上・下面増厚、橋面防水層の設置、橋面舗装、伸縮装置の交換および地覆・高欄の交換など多種・多様な工種から成る複雑な工事であった ・工期が厳冬期と重なったにもかかわらず、これらの工種を適切に実施すると共に、出来形および品質において創意工夫を凝らし、通常工事よりも厳しく設定した社内管理値で管理するなど、特筆すべき技術力を発揮した

◆施工業者からのPR
仮設計画の工夫…床版増厚工施工時の保温養生は、ジェットハーネスを使用して養生外部でヒーター運転を行い、内部が酸欠状態にならないようにして施工しました
品質、出来形向上の工夫…アスファルト舗装の平坦性の精度を上げるため、超音波センサー付フィニッシャーを使用して施工し、平坦性の向上に努めました
安全対策の工夫…工事のお知らせは、通行するドライバーにも配布し、工事による規制期間を周知させ、事故防止に努めました

15 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金事業（国道107号）24-HF17-20工事		
施工地名	由利本荘市御門		
商号又は名称	株式会社菅与組	許可番号	05-000958
請 負 額	103,451,250 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 畠山 順太郎		
監理技術者等	現場代理人 松田 猛		
発注公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	古山 司	監 督 員	薄田 智英
工 期	平成24年6月12日～ 平成25年1月11日	完成年月日	平成25年1月11日
概 要	1) 地盤改良（深層混合処理）N=264本 2) 翼壁（函体工）N=1基 3) 排水函渠工 L=20.9m		
特 徴	1) 住宅密集地における地盤改良工事である		
写 真			
完成写真		完成写真（翼壁）	
杭打機防音シート			

◆発注公所の表彰理由

- ・ この工事は、国道107号の本荘市街地において道路基礎地盤改良を行う工事である
- ・ 騒音抑制として杭打機本体の発電機及びスラリー攪拌プラント発電機周りを防音シートで覆い、振動に対しては、作業車両に見えやすい場所にデジタル表示の騒音振動計を設置し、注意喚起するとともに、騒音・振動値が地区住民にも見えるようにするなど、現場特有の仮設計画に創意工夫が見られた
- ・ 函渠本体部と後施工翼壁部（今回施工）の自重による剥離沈下を想定し、粗面仕上げ等通常の打継目処理の他に、接着剤の塗布、鉄筋継手のイモ継ぎ状態の防止、また、透明型枠を設置しコンクリート打設時の内部状況を確認出来るようにするなど、出来形管理、品質管理に取り組んでいる
- ・ 市街地内の工事であるにも関わらず苦情もなく、良好な出来映え・品質が確保された

◆施工業者からのPR

- ・ 本工事は、JR工事と隣接した狭隘な施工区域での地盤改良を主体とした工事のため、プラント設備の位置や残土の集積・積込場所の配置、安全対策に苦労しました
- ・ 一般公衆の安全確保のため、発注者に対して、改良ブロック毎の施工順序や杭の向きなどを検討提案し協議の上承諾をいただいたため、大型地盤改良機械が市道にはみ出すことなく安全な施工を行なうことが出来ました
- ・ 現場周辺環境対策には、新技術を積極的に活用することで効果を上げることができ、今後も有効な新技術の活用を図って参りたいと思います
- ・ 常に創意工夫と技術の向上に励み、品質の良い工事をより早く、より安全に仕上げ社会に貢献し続けたいと思います

16 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金事業（国道108号）24-HF18-20工事		
施工地名	由利本荘市矢島町前杉		
商号又は名称	山科建設株式会社	許可番号	05-000622
請 負 額	35,880,600 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 山科 優		
監理技術者等	現場代理人 池田 雄大		
発注公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	柿崎 誠治	監 督 員	古山 司
工 期	平成24年9月3日～ 平成25年3月25日	完成年月日	平成25年3月25日
概 要	1) 施工延長 L=146.9m 2) 道路土工 N=1式 3) 下層路盤 A=1,530㎡ 4) 歩道路盤 A=350㎡ 5) 現場打函渠工 N=1基 6) 踏掛板 N=1式		
特 徴	1) 国道108号バイパスの路床、路盤と函渠設置工事である		

写 真



完成写真



完成写真（函渠）



ジェットファン

◆発注公所の表彰理由

- ・ この工事は、国道108号前杉バイパス起点側の路床・路盤と函渠設置工事である
- ・ 車両運転手あるいは作業員が作業状況を容易に目視確認出来るよう、転圧回数のデジタル化、コンクリートポンプ車のホースのマーキング、バイブレータ差込み深さ確認用色別マーキング等、品質向上を意識した施工機械への配慮に努めている
- ・ 寒冷期のコンクリート加熱養生において、ジェットファン先端のダクトに通気口を設け、囲い全体の温度が均一になるように多方向から送風を行うなど、仮設計画に創意工夫が見られる

◆施工業者からのPR

- ・ 施工箇所が子吉川の近接地で、コンクリートの打設時期が工程的に冬期間となるものでありました
- ・ コンクリート打設の加熱養生においては、囲い内部温度の均一化、また盛土の締固め転圧回数確認方法や各種検測用具等の工夫を行い、工事の成果を納めることができました
- ・ 関係各位のご指導に感謝を申し上げますとともに、今後もこの受賞を励みに技術の研鑽と地域社会への貢献に努めて参ります

17 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	河川災害復旧事業（鮎川）23-23-0173-30工事		
施工地名	由利本荘市東鮎川黒沢		
商号又は名称	株式会社沢木組	許可番号	05-005082
請 負 額	120,155,700 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 沢木 則明		
監理技術者等	監理技術者 佐藤 広志		
発注公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	児玉 光広	監 督 員	吉田 雄
工 期	平成23年12月5日～ 平成24年6月20日	完成年月日	平成24年5月28日
概 要	1) 復旧延長 L=649.9m 2) 護岸工（連結ブロック張）A=3,410㎡ 3) 矢板工（広幅鋼矢板ⅡW型）L=6.5～8.0m N=112枚		
特 徴	1) 川表側 堤体への浸透水を防ぐため、遮水シート＋護岸工を実施 2) 川裏側 浸透水を速やかに集排水するため、ふとんかご設置		

写 真



完成写真



スーパークラッシュパイラー



施工講習会

◆発注公所の表彰理由

- ・ この工事は、平成23年6月の集中豪雨で被災・決壊した堤防の災害復旧工事である
- ・ 決壊箇所の矢板打込みは現場土質が玉石混じりの密な層のため、硬質地盤クリア工法を採用したほか、ふとんかご・じゃかご設置にあたり部材数の少ない材料を使用するなど、現場条件を克服するための工夫と工期短縮、施工性、品質向上を意識して工事を実施している
- ・ また、遮水シート敷設、ふとんかご、じゃかご組立て等人力作業が主となる工種について、作業従事者に製品の完成イメージと作業手順を習得・徹底させる目的で事前の講習会を実施するなど、作業効率と品質の向上に努めている

◆施工業者からのPR

- ・ 当工事は、堤防の盛土施工に先がけ試験盛土を実施し、本材料での巻出し厚および使用する2機種での転圧回数を決定することで、高品質な締固め管理が達成できました
- ・ 川裏のふとんかごの施工に当り、従来技術であるパネル型ふとんかごを使用せず、新技術であるハイパーマットを使用したことにより、部材剛性が高く変形・ハラミが発生しにくく、施工性、経済性ととも品質の向上が図れました
- ・ 冬期間でのコンクリート作業では、プレキャスト製品（法留基礎・小口止・集水柵）を使用し、品質確保と作業の効率化を図りました
- ・ 今後もこの受賞を励みに、さらなる向上に努め、地域社会に貢献して参りたいと思います

18 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	広域河川改修事業（鮎川）23-KA70-10工事		
施工地名	由利本荘市東鮎川		
商号又は名称	株式会社三浦組	許可番号	05-000297
請負額	91,743,750円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 三浦 正光		
監理技術者等	現場代理人 齋藤 聖司		
発注公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	児玉 光広	監督員	吉田 雄
工期	平成24年3月30日～ 平成24年9月28日	完成年月日	平成24年9月28日
概要	1) 施工延長 L=550m 2) コンクリートブロック張（連結ブロック）A=2,833㎡ 3) 根固工（袋詰玉石工）2t用 N=137袋		
特徴	1) 施工延長L=550m間の連結ブロック張工事であるが、現場進入路が一箇所しかないなか、3工区3班の体制で実施した		
写 真			
			
完成写真		回転場設置状況	
			伐木・除根作業

◆発注公所の表彰理由
<ul style="list-style-type: none"> ・この工事は、平成23年6月の集中豪雨で被災した区域の直下流で、既設堤防の護岸工設置と河道掘削工事である ・現場進入路が施工延長550m間の下流側に一箇所しかないため、現堤防の一部を拡幅し工事車両の待避所及び回転場を設置し、車両錯綜による施工の遅れを防ぐなど、現場条件に合わせた仮設計画に創意工夫が見られる ・河道に自生している雑木の伐木除根を行い、増水時における流水への阻害を軽減するなど、完成後の維持管理を意識し現場施工している

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・当工事は、河川改修の一環として、大型張ブロックの施工でしたが、曲線部における間詰コンの配置等、景観には特に配慮し施工を進め、無事故で完成することができました ・施工に際しご指導・ご協力をいただきました、発注当局をはじめ関係各位の皆様にご心より感謝申し上げます ・本受賞を励みに、更なる安全管理の徹底と技術力・品質の向上を目指し、地域への貢献に一層努力していきたく思います

19 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	東今泉地区 農地集積加速化基盤整備事業 03702-K01工事		
施工地名	大仙市太田町		
商号又は名称	高禮建設株式会社	許可番号	05-012351
請 負 額	49,712,250 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 高貝 芳彦		
監理技術者等	現場代理人 藤城 政信		
発注公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	鈴木 努	監 督 員	渋谷 友彦
工 期	平成24年3月30日～ 平成24年12月3日	完成年月日	平成24年12月3日
概 要	1) 区画整理工 A=8.4ha		
特 徴	1) 現場の3方向を中小河川に囲まれた悪条件下における綿密な仮設計画 2) 品質向上のための工夫と環境配慮、地域貢献への取組		
写 真			
完成写真	大規模ストックヤード		地元中学生の体験学習

◆発注公所の表彰理由
<ul style="list-style-type: none"> ・現場の3方向を中小河川で囲まれているほか、農地には多くの既設コンクリート廃材が包含されている このため資材搬入路の確保と、廃材を農地に混入しないような効率的な仮設計画が課題となったが、農道が計画されている敷地に搬入路を確保し、作業効率を向上させる大規模なストックヤードを設け、克服した ・農地整備の品質向上のため、基盤層の砂利が表土に混入しないように、基盤浮石に重機による再度の転圧を実施しており、このことは所期の目的に加え、本地区特有の“ザル田”解消の副次的効果も期待できる ・また、自然環境への配慮、中学生の体験学習の受け入れなど地域貢献への取組も顕著である

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・整地工の早期完成による品質向上を目指し、増班体制及び各工種作業毎の工程調整に留意した結果、現場条件に合わせた適切な仮設計画と併せて、約3ヶ月の工程短縮を達成できた ・コンクリート構造物の長寿命化のために、用水路への伸縮目地の追加、現場打ち構造物への瀝青目地板の追加設置により、打継目のクラック防止に努めた ・夏季作業の熱中症予防にウォーターサーバーの配置や、リスクアセスメントによるKY活動の徹底により、高温多湿の屋外作業での安全衛生に留意した ・当事業工区での安全協議会を設立し、小学校と連絡を取り合いながら通学路の安全確保に努めた

20 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	若松堰地区 地域用水環境整備事業 00103-K01工事		
施工地名	仙北市田沢湖卒田		
商号又は名称	株式会社藤村組	許可番号	05-007011
請 負 額	64,600,200 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 藤村 正士		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 義正		
発注公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	村上 幸悦	監 督 員	西井 親文
工 期	平成24年10月1日～ 平成25年3月25日	完成年月日	平成25年3月25日
概 要	1) 固定堰 L=40.0m 2) 護床工 A=314m ² 3) 護岸工 L=35.8m 4) 案内板 N=1基		
特 徴	1) 固定堰、護岸工、護床工に現地産の自然石を配置した工法 2) 施工性等の向上も見据えた仮締切の取り組み		
写 真			
			
完成状況		護岸工施工状況	
			
仮締切施工状況			

◆発注公所の表彰理由

- ・当該地区は「田沢湖抱返り県立自然公園」内に位置し、全ての工種において景観に配慮した工法が要求された
- ・中でも、固定堰・護岸工・護床工においては、現地産の自然石を表面に配置し、その数は数万個にも及び、その選定、配置、据付には相当な労力を要したが、的確な工程管理の下、精度の高い出来形・品質を確保し、且つ周辺環境とも調和のとれた出来映えは高く評価出来る
- ・また、上記工種は全て河川内での作業であることに加え、東北電力のダム放流による増水も例年あることから、大型土のうによる仮締切の施工に際し、前年度施工した「魚道部との段差解消」及び「水密性確保」のため通常の土のうにより施工基面を安定させる等、その後の「施工性」、「工程」、「安全性」、「コンクリート品質」、「出来形」等の向上も見据えた対策が高く評価出来る

◆施工業者からのPR

- ・仮設道路の盛土面は、河川公園として芝生や樹木の植生、遊歩道、ベンチ等整備されており、その施設に偏圧や陥没などで損傷を与えない様、衝撃緩衝砂を敷均し、盛土を施工した
- ・現場内排水の濁水流出防止として、ろ過材を使用した沈殿槽を設け、濁度を低減させてから流下させることで、河川の生態系への影響を防止した
- ・地域関係者（若松堰土地改良区等）への現場視察会を開催し、構造物の概要と機能・特徴について説明したが、農業用水の安定供給に対し、非常に関心が高く、頭首工の完成を長年熱望していたこともあり、熱心な質疑応答のある現場視察会となった

2 1 第 3 4 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	東今泉地区 農地集積加速化基盤整備事業 03702-K02工事		
施工地名	大仙市太田町		
商号又は名称	株式会社佐藤建設	許可番号	05-011646
請 負 額	49,303,800 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 佐藤 吉博		
監理技術者等	現場代理人 高橋 未来大		
発注公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	鈴木 努	監 督 員	渋谷 友彦
工 期	平成24年3月30日～ 平成24年12月3日	完成年月日	平成24年12月3日
概 要	1) 区画整理工 A=7.2ha		
特 徴	1) 農地整備の品質向上のための工夫と水路の長寿命化対策 2) 農家の労力節減のための小段提案と設置		
写 真			
			
完成写真	シートパイルによる整地	法長の長い溝畔に小段を設置	

◆発注公所の表彰理由	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地整備の品質は各耕区の均平度をいかに向上させるかが課題となり、本工事においては、これを重点目標として取組み、独自に長尺シートパイルを使用して、均平度を規格値の50%以内におさめ、品質向上させた ・ また、用水路の敷設にあたっては、膨張・収縮による影響を予防する目的で、樹脂系目地を使用し、長寿命化に努めた ・ 工事完了後の農家が行う草刈り等の維持管理を容易にするため、法面の長い箇所小段を提案し、発注者等との協議により設置した

◆施工業者からのPR	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当地区は、施工初年度工事という事もあり、工事委員会の組織が事前に確立されておらず、施工者提案による工事の推進が必要とされた ・ そのため、工事広報の配布・日常の対話やコミュニケーションを図るとともに工事委員会で施工提案を実施し、地域のニーズを把握し円滑に施工を行った ・ 『田沢疏水サイフォンの泥上げ』・ 『市道・田沢疏水堤防の草刈』・ 『農地への支障木伐採』といったニーズに合わせた地域貢献を行うことで関係者の方々に喜ばれた

2 2 第 3 4 回 秋 田 県 優 良 工 事 表 彰 受 賞 工 事

◆工事概要			
工 事 名	総合流域防災事業（西根沢）LB32-10工事		
施工地名	大仙市大曲西根		
商号又は名称	株式会社丸茂組	許可番号	05-008285
請 負 額	52,927,350 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 三浦 尚		
監理技術者等	現場代理人 照井 基		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	荒木 誠	監 督 員	千葉 政幸
工 期	平成24年7月17日～ 平成25年3月13日	完成年月日	平成25年3月13日
概 要	1) L=154.00m 本川 L=115.9m、支川 L=38.1m 2) 護岸工 A=758㎡ 本川 A=561㎡、支川 A=197㎡		
特 徴	1) 急峻な地形における安全対策の工夫 2) 冬期のコンクリート打設管理		
写 真			
			
完成写真	墜落防止措置（看板設置）	保温養生（簡易屋根設置）	

◆発注公所の表彰理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は砂防えん堤工に引き続く、本・支川の溪流保全工である ・ 床固工や函渠工の掘削作業では6mを超える落差が生じたため、作業員に安全作業の徹底を図ると共に、住家に近い現場のため、第三者災害の防止対策についても積極的に取り組んだ ・ 冬期のコンクリート打設に当たり、養生方法に工夫を加え、良好な品質の確保を図った

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 床固工及び函渠工の掘削作業では、最大高さ6m超の落差が生じたことから、地山崩落並びに落石を防止するため、切取斜面へ浮石防護ネットを、また、法肩には転落防止のための防護フェンスを設置し、作業員の安全確保に努めた ・ 作業ヤードが狭隘で、十分な作業スペースの確保が困難だったことから、水替えにはコルゲート管を作業ヤード地下に埋設し、作業スペースの確保を図った ・ 床固工の型枠設置に当たり、基礎岩盤上に設計外の均しコンクリートを施工し、型枠アンカー筋の固定に用いた。これにより、強固な型枠設置ができ、安全な作業が図られた

23 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	県単河川改良事業（丸子川）K347-10工事		
施工地名	大仙市高梨		
商号又は名称	大曲土建株式会社	許可番号	05-001777
請 負 額	82,431,300 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 小原 良英		
監理技術者等	現場代理人 菅原 義弥		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	荒木 誠	監 督 員	堀川 智也
工 期	平成23年10月17日～ 平成24年5月18日	完成年月日	平成24年4月27日
概 要	1) 施工延長 L=140.0m 2) 法覆護岸工 A=2,903㎡（右岸 A=734㎡、左岸 A=2,169㎡）		
特 徴	1) 工期の短縮（全延長半川締め切り、既設連結ブロック廃材の活用） 2) 特殊堤コンクリート解体の騒音、振動の縮減		
写 真			
			
完成写真		既設連結ブロック廃材の活用	
コンクリート油圧破碎機(人家防護)			

◆発注公所の表彰理由

- ・ 本工事は市街地内の築堤・護岸工事である
- ・ 工事に当たり進入路が1箇所しか確保できず、また、幅員も狭いなど、資機材の搬入には困難を極めたが、作業方法や施工時期の調整などにより工期の短縮を図った
- ・ また、住家に近接して行われた既存コンクリートの取り壊しでは、油圧破碎機を使用して騒音・振動の低減を図り、袋詰石工では、個々の重量を測定し品質のバラツキを防ぐなどの工夫も見られた
- ・ 市街地内の工事であるにも関わらず苦情もなく、良好な出来映え・品質が確保された

◆施工業者からのPR

- ・ 河川増水時の洗掘防止及び工期の短縮を図るため、仮設を工夫する必要があったため、大型土のうによる施工区間全体の半川仮締め切りによることで工期短縮を行った
- ・ 現場での安全措置として、各種情報通信（地震、災害等）を活用し、併せて秋田県河川情報システムによりデータを収集・分析することで更なる安全確保に努めた
- ・ 訪問による広報活動、苦情調査、声掛け運動を通して住民と意志疎通を図り、近隣の小学校には指導をお願いすることで、工事への理解と安心につながった

24 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	金屋地区 農地集積加速化基盤整備事業 03901-K01工事		
施工地名	横手市平鹿町		
商号又は名称	株式会社村岡組	許可番号	05-011065
請負額	78,773,100円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 村岡 志朗		
監理技術者等	監理技術者 藤原 和美		
発注公所	平鹿地域振興局（農林部）		
主任監督員	今泉 裕	監督員	三浦 竜
工期	平成24年3月23日～ 平成24年12月21日	完成年月日	平成24年12月19日
概要	1) 整地工 A=15.3ha 2) 用水路工 L=566m 3) 排水路工 L=1,405m 4) 道路工 L=1,329m		
特徴	1) 水田直播技術に対応したほ場均平の実施 2) ゲリラ豪雨対策のため排水路溝畔の植生ネット実施 3) 工事説明案内板の設置と現地説明会の実施及び広報誌の配布		
写 真			
 <p>整地補助機械 導入後の石礫除去</p>		 <p>短草種配合植生ネット による法面保護</p>	
<p>整地補助機械の導入</p>			

◆発注公所の表彰理由

- ・ほ場均平度の水準を高めるため整地補助機械を導入し、規格値のおおよそ20%の数値の出来形にまで高める対策を実施した
- ・排水路法面は工事直後は裸地になることから、洪水等が発生した場合には、大きな被害が発生する恐れがあるため、法面の崩落防止対策として植生ネットを施工し予防対策を実施した
- ・また、工事の円滑な施工と地元理解のため、工事説明版の設置・現場説明会の実施の他、現場周辺への工事便りを毎月発行し、広報活動も実施した

◆施工業者からのPR

- ・地区外ほ場への用水と近隣集落の防火用水確保として仮設用水路を設置し、地元要望に対応するとともに、環境への配慮として、仮設水路流末部に沈砂池を設け、土砂流出防止に努めました
- ・排水路維持管理時の安全を考慮し、主要排水路の上・下流部に現場発生材（柵工板）を使用した昇降階段を提案し、施工しました
- ・現場周辺の雑草繁茂によるカメムシの発生を防ぐため、地元関係者と除草時期・範囲等の打合せを行い、地元関係者と連携し対策に努めました
- ・工事の性質上受益者の立場に立った施工を心掛け、発注者、地元住民、請負者の三者の連絡を密にし、特に地元住民とのコミュニケーションを重視して円滑に工事を進めることができました

25 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金事業（御所野安田線）H24-FI57-20工事		
施工地名	横手市旭川		
商号又は名称	伊藤建設工業株式会社	許可番号	00-024734
請 負 額	68,302,500 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 伊藤 昭文		
監理技術者等	現場代理人 杉山 幸一		
発注公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任監督員	福田 行裕	監 督 員	川村 良幸
工 期	平成24年7月13日～ 平成24年12月28日	完成年月日	平成24年12月19日
概 要	1) 愛宕大橋 L=110.0m W=6.0(14.5)m 床版補強（炭素繊維）上面A=107㎡・下面A=325㎡ 舗装 A=1,377㎡、橋梁用防護柵 L=226m		
特 徴	1) 品質向上に対する取り組み 2) 歩行者及び通行車両に対する配慮		
写 真			
			
アルミ合金製防護柵	自動温度記録計による 夜間の温度管理		溶接時の火花飛散防止対策

◆発注公所の表彰理由

- ・設計は鋼製高欄であったが、塩害による腐食が無く耐食性や耐候性に強いアルミ合金製防護柵を、監督職員の承認を得て本現場に採用したり、床版補強工（炭素繊維）の施工にあたっては、品質管理記録表を作成し、デジタル計により気温と湿度をリアルタイムに観測するなど、品質向上に向けた取り組みに優れている
- ・当該区間は通学路となっており歩行者も多いため、酸素溶接機器の作業時には鉄板による火花飛散防止対策を行ったり、看板にはスポンジ枠を使用するなどにより、歩行者の安全確保を図っている
- ・地元コミュニティFMを利用し交通規制情報を発信することで、渋滞対策にも配慮している

◆施工業者からのPR

- ・本工事は他工事との工程調整を特に留意し、施工を行いました
- ・各工種の施工にあたり、使用する材料は当社の機材センターに仮置き、必要数量分のみ現場倉庫に置いて、雨等による湿気、直射日光による材料の分離を避けるよう、品質向上に努めました
- ・工事期間中は、監督職員、関係各位との意思疎通を十分に図り、無事工事を完成させることができました
- ・今後も、この受賞を励みに、技術・品質の向上に努め、地域社会に貢献できるよう、日々努力して参りたいと思います

26 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	県単道路補修事業（横手停車場線）H23-G557-K1工事		
施工地名	横手市上真山		
商号又は名称	株式会社吉田建設	許可番号	05-002514
請 負 額	14,081,550 円	工 種 ・ 格 付	ほ装 A 級
代 表 者	代表取締役 吉田 博行		
監理技術者等	現場代理人 土田 雅登		
発注公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任監督員	大山 寛	監 督 員	三浦 学
工 期	平成24年3月23日～ 平成24年7月31日	完成年月日	平成24年7月6日
概 要	1) 施工延長 L=380m、路面切削工 A=2,860㎡ オーバーレイ（高耐久性舗装）t=4cm A=2,860㎡		
特 徴	1) 交通量が多い住宅密集地における舗装工事 2) 品質向上に対する取り組み		

写 真



広範囲な住民に対する広報活動



レーザー・プロファイラーによる起工測量



スクリッド自動制御装置を使用することで均一な品質確保

◆発注公所の表彰理由

- ・当工事は、横手市内の交通量が多い住宅密集地内での舗装工事であったため、工事の広報誌を広範囲の住民に対し配布したほか、起工測量にレーザー・プロファイラーを使用し、交通規制時間の短縮を図る等の工夫により、苦情等が無く工事を完成させた
- ・オーバーレイに使用するアスファルト合材において、工期短縮や舗装の長寿命化に寄与する高耐久性舗装材の提案をしたり、アスファルト合材がタイヤ表面に付着しにくい植物油を使用した付着防止剤を使用するなど、舗装の品質向上に向けた取り組みに優れている

◆施工業者からのPR

- ・当工事は交通量が多いほかに幅員も非常に狭い工区であったため、徹底した安全管理と事故防止対策を行いました
- ・また、地元住民への負担軽減を図るため、工程を一日でも短縮できるよう検討し、その結果無事故で苦情もなく工事を完成させることができました
- ・ご協力をいただいた地域の皆様、並びに、監督職員の皆様方への感謝の気持ちを忘れずに、これからも現場に合った最善の施工を熟慮し、更なる品質の向上を目指して地域社会への貢献を目指して参りたいと思います

27 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	若畑地区 山地災害総合減災対策治山事業 RH1116A150工事		
施工地名	湯沢市皆瀬		
商号又は名称	株式会社高嶋組	許可番号	05-002677
請 負 額	29,211,000 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 高嶋 伸夫		
監理技術者等	現場代理人 柴田 正彦		
発注公所	雄勝地域振興局（農林部）		
総括監督員	高橋 信義	監 督 員	小林 健太
工 期	平成24年8月10日～ 平成25年3月15日	完成年月日	平成24年12月3日
概 要	1) 木製治山ダム工（木製床固工）N=2基		
特 徴	1) 木材利用と自然環境の配慮		
写 真			
			
施工前		完 成	
		施工状況	

◆発注公所の表彰理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、ダム工に木材を使用したダムの築堤である ・業者は、初めての工法であったが、資材の調達管内の製材業者を選定し、行程の短縮を勘案しながら材料の供給、製品の品質チェックを行い、出来型、出来映えも優れている ・施工地周辺の地域貢献や行事への参加を積極的に行っており、近隣関係者との関係が良好である 	

◆施工業者からのPR	
<ul style="list-style-type: none"> ・木製の材料については、伐採直後の加工製品を使用することにより、害虫がつかない高品質の製品を確保しました ・主力作業員に1級建築大工技能士1名と、型枠大工2名を配置し、製品の見立てが優れている社員の施工により、木製品の取扱いはもとより、わずかな「そり」や「曲がり」を見抜き、出来形寸法を全て規格値の50%以内にするのができ、工期の短縮にもつながりました ・地元住民を対象に現地見学会を開催し、当該現場で支障木として伐採された「杉の木」を、木製ダム工の原材料として使用していることをアピールして、地元住民に高評価を得ました 	

28 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	県単河川改良事業（皆瀬川）K454-10工事		
施工地名	湯沢市三梨町		
商号又は名称	株式会社和賀組	許可番号	05-001900
請負額	34,491,450円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役社長 和賀 幸雄		
監理技術者等	現場代理人 柴田 利美		
発注公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任監督員	加藤 勝広	監督員	菊池 秀樹
工期	平成24年10月19日～ 平成25年3月22日	完成年月日	平成25年3月22日
概要	1) コンクリートブロック張 A=890.0㎡ 2) 根固めブロック(2t) N=180個		
特徴	1) 厳冬期施工からくる品質低下対策として工場製品の使用 2) 景観・環境に配慮し緑化ブロックに黄花コスモスの植栽		
写 真			
			
完成写真	黄花コスモス	電子吊り秤	

◆発注公所の表彰理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ この工事は、一級河川皆瀬川に緑化ブロック張工及び根固工を施工したものである ・ 厳冬期施工によるコンクリートの品質低下を回避するため、工場製品を使用している ・ また、出来形管理においても丁寧な施工に心がけ、全て規格値の50%以内で管理している ・ 施工現場周辺の清掃を実施したり、景観に配慮し黄花コスモスの種を緑化ブロックに使用するなど創意工夫も積極的に行っている

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 根固めブロック、袋詰玉石、緑化ブロックを電子吊り秤により重量確認を行なって、出来形管理しました ・ 工事車両出入り口にカーブミラーを設置するとともに、凍結時は融雪剤を散布し事故防止に努めました ・ 当該地権者及び漁業協同組合等と良好な関係を築きながら工事を進めさせていただきました

29 第34回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	能代地区統合高校（仮称）建設事業 教室棟機械設備工事		
施工地名	能代市緑町		
商号又は名称	株式会社柴田ボイラ工業	許可番号	05-010347
請負額	50,362,200円	工種・格付	給排水暖冷房衛生設備 A級
代表者	代表取締役 柴田 重雄		
監理技術者等	現場代理人 柴田 恒広		
発注公所	営繕課（建設部）		
総括監督員	武田 浩一	監督員	近藤 怜
工期	平成23年11月30日～ 平成25年2月22日	完成年月日	平成25年2月22日
概要	1) 教室棟及び渡り廊下（2）の建築物（延べ床面積1,894.38㎡）に対する機械設備工事 （給排水暖冷房衛生設備、自動制御設備等）		
特徴	1) 教室の使用に合わせた無駄のない暖房運転が可能なシステムや、全熱交換形の換気設備、節水型衛生器具の採用により省エネを図っている		
写 真			
			
温水パネルヒーター		全熱交換器	
			衛生器具

◆発注公所の表彰理由

- ・本工事においては、隣接工事との調整で暖房、換気設備や衛生器具等の設計意図への理解を互いに共有し、高い技術力と経験により使いやすい施設を構築している
- ・また、暖房設備の立ち上がり時間の測定や、換気設備の熱交換効率の測定等、きめこまやかな試運転調整を実施するとともに、社内検査体制を整えることで、工事全体の精度の向上を積極的に図っている

◆施工業者からのPR

- ・配管工事に際し、基本に忠実な施工を心がけ、監理技術者、配管技能士によるダブルチェック体制を実施することにより、確認漏れを確実に防止し優れた施工を確保できた
- ・また、配管塗装については、塗装箇所ごとに色分けすることで目視で一目瞭然となり、塗り忘れ箇所無く施工できた
- ・2階が木造トラス梁のため、全熱交換機及びダクト配管の見栄えや、取付方法について検討した結果、振止め用ワイヤーシステムを採用した
- ・建物特性を把握し竣工時の機能上の状態を明らかにし、保守管理及び経年劣化の検討資料として活用出来るよう試運転報告書を整理した
- ・本工事は、同一敷地内で既存の校舎を使用しながらの工事であったため、事前に時間帯の調整を行う等、第三者災害の防止及び騒音対策を徹底したほか、イメージアップ活動や清掃等、地域への貢献をはかった

秋田県優良工事表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副	知	事	堀井啓一
選考委員	総	務	部長	木村宗敬
〃	農	林	水産部長	藤井英雄
〃	建	設	部長	富田耕司

秋田県優良工事表彰 幹事会名簿

幹事長	建	設	部	次	長	石黒互			
幹事	(秋田県入札制度適正化推進委員会技術専門部会)								
〃	部	会	長	及川洋					
〃	専	門	委	員	後藤文彦				
〃	専	門	委	員	佐藤悟				
〃	専	門	委	員	山田寛次				
〃	専	門	委	員	長谷川兼一				
〃	専	門	委	員	浅野耕一				
〃	専	門	委	員	永吉武志				
〃	(秋田県知事部局関係課室)								
〃	農	地	整	備	課	長 倉部明彦			
〃	森	林	整	備	課	長 佐藤龍司			
〃	建	設	政	策	課	長 塚田善也			
〃	技	術	管	理	課	長 石山良英			
〃	道	路	課	長	柴田公博				
〃	建	設	部	参	事	兼 河川砂防課長 齋藤春美			
〃	営	繕	課	長	小玉嘉裕				
〃	(秋田県教育庁関係課室)								
〃	総	務	課	施	設	整	備	室	長 能登谷敏

秋田県優良工事表彰要綱

(表彰の目的)

第1条 県が発注した工事のうち、優秀な工事を施工したものを表彰することにより、建設技術の向上を図ることを目的とする。

(表彰の対象)

第2条 対象は、前年度に完成した工事とし、秋田県工事成績評定に基づき評価されたものとする。

(表彰の名称)

第3条 名称は、「秋田県優良工事表彰」とする。

(表彰の基準)

第4条 次のすべてを満足すること。

- (1) 当該工事の出来形が優秀であること。
- (2) 当該工事全般の管理状況が良好であること。
- (3) 当該企業において労働災害がないこと。
- (4) 当該企業における各工事の施工成績が良好であること。
- (5) 建設業法及び「建設産業における生産システム合理化指導要綱」を遵守し、他の模範とされる施工企業であること。

(推 薦)

第5条 各所属長は、表彰することが相当と認める工事があるときは、選考委員長へ推薦するものとする。

(選考委員会)

第6条 表彰すべき工事を選考するため選考委員会を置き、その構成は、別表第1のとおりとする。

- 2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告にもとづいて協議し、表彰すべき工事を決定するものとする。
- 3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。
- 4 幹事会は、各所属長より推薦のあった工事について、当該工事の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

(表 彰)

第7条 表彰の種類は、優良工事表彰、特別表彰、地域振興局長表彰とする。

- 2 被表彰者は、施工企業の代表のほか、その工事を担当した監理技術者等とする。

(事務局)

第8条 事務局は、技術管理課に置く。

(補 則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、昭和55年5月1日から施行する。

平成10年3月27日一部改訂

平成12年4月1日一部改訂

平成16年4月1日一部改訂

平成18年4月1日一部改訂

平成19年4月1日一部改訂

平成20年4月1日一部改訂

平成21年6月1日一部改正

平成22年4月28日一部改正

1. この要綱は、平成23年4月25日から施行する。
2. 平成22年度の豪雪又は東北地方太平洋沖地震に伴い、契約事項第20条第3項又は第21条第2項の規定に基づき、工期延長された工事で、平成23年4月1日から同年同月末日までに完成した工事については、本要綱第2条に規定する前年度完成した工事として取り扱うものとする。
この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P35の名簿参照のこと

あきたびじょん

